

2013年2月26日

## 当社グループ等で展開する“エコアセットコンソーシアム”が支援 生態系ネットワークの形成と次世代の担い手育成事業 「命をつなぐPROJECT」が愛知環境賞 優秀賞を受賞

住友林業株式会社（社長：市川 晃 本社：東京都千代田区）と当社グループ会社の住友林業緑化株式会社（社長：徳永 完平 本社：東京都中野区 住友林業（株）100%出資）、およびその他企業で構成し、生物多様性保全を目的とした土地利用コンサルティング事業を展開する「エコアセットコンソーシアム」が専門知識の提供等を通じて支援する、「命をつなぐPROJECT」が愛知環境賞の優秀賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

およそ40～50年前、工業地域形成のための埋め立て時に植樹された、知多半島臨海部の工業地帯に連なる多くの企業緑地は、時を経て広大な緑地群（グリーンベルト）へと成長していますが、その管理や保全は企業ごとに行われており、生物多様性という観点からは改善の余地が残されていました。

この企業緑地群の生物多様性の保全を目的に、全国各地で環境保全に関するボランティア活動に取り組む特定非営利活動法人日本エコロジスト支援協会が、愛知県と協働しながら各エリアを結ぶ生態系ネットワークの形成を図っており、本NPOの設立から関わってきたエコアセットコンソーシアムでは、専門領域における知見の提供を通じて本取組みを支援するとともに、個別企業の生物多様性コンサルティングを行っています。

その中で、次世代の担い手となる地元の若者の中から、本取組みへ意欲のある協力者を公募し、緑地群の調査や保全、生物多様性促進のための様々な取組みを企画・推進しています。この取組みは、生態系ネットワーク構築のモデルとして先駆的であり、若年世代への教育も含め、他地域への波及効果が期待できると高く評価され、このたびの受賞に至りました。



現在の企業緑地。豊かな緑量を誇り、周辺の生物にとって重要な拠点となりつつある。

### 〈愛知環境賞について〉

資源循環や環境負荷の低減を目的とした、先駆的で効果的な〈技術・事業・活動・教育〉の事例を募集し、事業支援するとともに広く紹介することによって、資源循環型社会の形成促進を目的としています。

以上

### 参考資料へ

《ニュースリリースに関するお問い合わせ先》  
住友林業株式会社  
コーポレート・コミュニケーション室 池田・飯塚  
TEL 03-3214-2270

